

地域とともにある学校

「コミュニティ・スクール」

地域に開かれた学校運営を目指す「コミュニティ・スクール」が昨年からスタートしました。
現状と、各学校での特色ある取り組みをご紹介します。

取材協力

多久市教育委員会
学校教育課
なんり ゆたか
南里 豊 課長



ふるさと多久を愛し「志」を果たしていける未来を創り上げるために

平成28年4月から始まった「コミュニティ・スクール」は、地域のみなさんや保護者に学校運営に参画していただくことで、地域と学校が連携し、地域に開かれた学校づくりを目指すものです。

多久市では、以前からみなさんに登下校の見守りや、体験学習の協力など地域のご支援をいただいています。子どもさんやお孫さんが在校していいないと、学校に行く機会が少なくなるとしています。ですが、地域とともにある学校を目指すコミュニティ・スクールは、地域のみなさんの力を必要としています。

みなさんの経験や力を活かしていただき、地域全体で育

む学びの場、ふるさと多久を愛する子どもたちを育む場としていきたいと考えています。また、地域のみなさんにとっては学校を校としたまちづくりの場になればと思っています。

特に、義務教育学校では、9年間という長期にわたって多くの子どもたちに地域の人が関り支えていくことで、安心・安全な教育環境が築けるとしています。

この1年半、各学校での取り組みのおかげで子どもたちは、いろんな体験ができ、やる気を助長しています。
各学校での取り組みの一例を紹介します。

コミュニティ・スクールのしくみ

